ＮＰＯ法人シアターネットワークえひめ

■□■　2017 年度事業報告（自：2017 年 4 月 1 日　至：2018 年 3 月 31 日）■□■

芸術文化に関する意識啓発事業

1）文化芸術に関する情報提供

県内及び全国各地の文化ＮＰＯや文化振興財団等が発行する舞台芸術等に関する広報誌・リーフレット・公演情報などをシアターネットワークえひめＷＥＢ・フェイスブック、シアターねこ、公共施設等にて紹介。シアターねこと協働でシアターねこしんぶんを発行した。

http://tne-ehime.org/　　http://cttmatsuyama.jugem.jp/　　http://theaterneco.main.jp/

2）シアターねこフェスタ 2017

まちなかの小劇場「シアターねこ」において、舞台公演、お笑いライブ 、ワークショップ等の開催を通して、アートコミュニティを創出するとともに、アートの創造的交流やアートへの関心の高まりを目的として開催しました。2017 年度は、パントマイムの上演や障がいのある方々とのダンスワークショップなど例年と違ったプログラムも実施。言葉を使わず身体だけで自身や他人との関係性を表現するパフォーマンスとの出会いは、「関係を描く演劇」の体験となった。障がい者の方々の自由に身体を動かしていきいきとされている様子をみることができ、多様な方々との出会いの場となった。

日　時　2017 年 11 月 11 日（土）・12 日（日）10：00-22：00
会　場　シアターねこ
共　催　四国学院大学、シアターねこ
協　力　特定非営利活動法人ワークライフコラボ
助　成　平成 29 年度文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業
　　2017 年度 JT NPO 助成事業
参加総数　326 人

内　容
① 一箱古本市
　日　時　2017/11/11・11/12
　場　所　シアターねこ　エントランス
② 物販・飲食コーナー
　日　時　2016/11/5・11/6
　場　所　シアターねこ　エントランス・リハーサル室
　参加団体　うたたね農園、大五木材木（おもちゃ）
　　就労継続支援Ｂ型事業所ひだま里
　　オウ・ボン・パンド・イワモト、Kili
　　山本屋、NPO 法人農音

③ 障がいのある方々と一緒にワークショップ
「インプロヴィゼーション（即興）」の手法を用いて
最初は不安だった表情がだんだんと明るく変化されていた。
日　時　2017/11/12　　10：30-12：00
場　所　シアターねこ
対　象　障がいのある方
講　師　yummydance（ダンスカンパニー）
料　金　無料
人　数　10 人

④ 野外公演「ライブなラブパフォーマンス」
日　時　2017/11/11・12　　3 回公演
場　所　シアターねこ前庭
講　師　劇団 250km 圏内
料　金　無料
人　数　42 人

⑤ 朗読教室発表会＋大切なモノから紡いだ物語
シアターねこの朗読教室の発表と大切なモノの物語ワークショップから誕生した物語の朗読。
日　時　2017/11/11　　12：30-13：30
場　所　シアターねこ　シアター
料　金　無料
人　数　20 人

⑥ お笑いライブ-就職活動-vol.53
フェスタ恒例のお笑いライブ
日　時　2017/11/11　13：30-14：30
場　所　シアターねこ　シアター
料　金　無料
人　数　39 人

⑦ コンテンポラリーダンスワークショップ
様々な年代の方々が協力しながらラストは即興作品となった。
日　時　2017/11/12　19：00-22：00
場　所　和光会館
講　師　五十嵐結也・黒須育海・手塚バウシュ
料　金　2,000 円
人　数　14 人

⑧ シアター特別公演
１：五十嵐結也×黒須育海＋手塚バウシュダンス公演
五十嵐結也「さよならともぢくん」　黒須育海デュオ「F 値」
五十嵐結也と黒須育海、手塚バウシュのダンスセッション
２：白木原一仁ソロマイム公演「for スマイルーソコニイルコトー」
日　時　2017/11/11　15：30-18：00　11/12　13：30-16：00
場　所　シアターねこ　シアター
料　金　前売：一般 2,000 円/大学生 1,000 円/親子券 2,000 円
当日＋500 円
人　数　107 人

3）親子対象ワークショップ

① 砂絵と影絵で踊ってみよう

子どもたちの自由で様々なポーズが、砂絵と影絵の中に入り込み、人に伝わっていく様子を体感してもらった。表現との出会い体験ができた。

日　時　2018/1/14　　13：30-15：00
対　象　およそ３歳から
場　所　シアターねこ
講　師　合田緑（ダンサー）、田村祐子（サンドアートアーティスト）
料　金　親子 1,500 円
助　成　2017 年度 JTNPO 助成事業
人　数　20 人

4）大切なモノの物語ワークショップ

参加者の大切な物を軸として物語を作り、ロープウェイ街門前市で発表した。

日　程　　2017/9/30～11/12
講　師　　小嶋一郎（演出家）
料　金　　1,000 円
助　成　　2017 年度 JTNPO 助成事業
人　数　　294 人

① WS:仲間同士が出会い、自分の大切なモノの話をする
　日　時　2017/9/30　　10：00-12：30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　人　数　8 人

② WS:地域の方々をゲストに迎え、大切なモノのお話を聞き物語に紡ぐ
　日　時　2017/10/7・8　　10：00-12：30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　人　数　17 人

③ 互いに創作したモノの物語の発表の仕方を考えて、準備する
　日　時　2017/10/28　　10：00-12：30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　人　数　8 人

④ 発表会：大街道門前市に出かけ、道行く人に物語を発表
　日　時　2017/11/3　　9：00-17:00
　場　所　ロープウェイ通り
　人　数　250 人（感想提出者 78 人）

⑤ 振り返り会：大切なモノの物語を冊子にまとめ、次の展開を検討
　日　時　2017/11/27　　19：00-21：00
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　人　数　11 人

●物語を聞いた方の感想：お話があったかいのと巾着袋を触っていると温度が伝わってくるようで良かったです。　信じることで変わることがある自分を信じることが大事なんだなと思いました。
●物語を提供した方の感想：こんなお話になるんですね。涙が止まりません。お話を聴いてもらえてよかったです。
●物語の創作者の感想：インタビューでは色々な人の話が聞けてよかった。話の伝え方を考える機会となった。それぞれの得意分野で発表会を飾ることができた。

5) アートリレー講座「おしゃべりねこ」

様々なアーティストをゲストに迎え、参加者と一緒に座談会
読書や観劇を深めていく知的で創造的な対話が展開された。
また、作家が何を考え、どのように創作していくのか、社会的な視点を持つことの大切さなど興味深い内容だった等、感想が寄せられた。

日　程　　2017/4/14～2018/2/8
料　金　　500 円
助　成　　2017 年度 JTNPO 助成事業

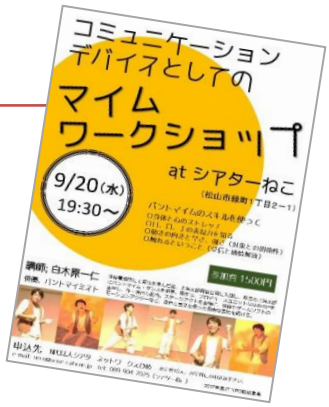
① 生きる力と希望―悪童日記―
　日　時　2017/4/15　　19:00-20:30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　ゲスト　山口茜（劇作家・演出家）　壽卓三（愛媛大学副学長）
　人　数　33 人

② 戯曲を書くこと
　日　時　2017/7/29　　19:00-20:30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　ゲスト　篠原久美子（劇作家）
　人　数　20 人

③ 不条理劇のおもしろさ
　日　時　2017/8/17　　19:00-20:30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　ゲスト　広田ゆうみ（俳優）　二口大学（俳優）
　　壽卓三（愛媛大学副学長）
　人　数　22 人

④ 一人で舞台に立つということ
　日　時　2018/2/8　　19:00-20:30
　場　所　シアターねこ　リハーサル室
　ゲスト　田中遊（俳優・演出家・劇作家）
　人　数　15 人

5) コミュニケーションデバイスとしての マイムワークショップ



自らのコミュニケーション力、身体による表現力を培う
自らの体験を語り合い、喜怒哀楽のシチュエーションを身体表現のみで表現することにチャレンジ。

参加者感想　自らの体験を語り合い、喜怒哀楽のシチュエーションを身体表現のみで表現することにチャレンジした。
　　表現と肉体とくに表情との関係を実感することができた。

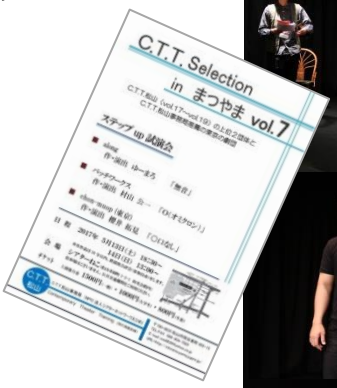
日　時　　2017/7/20　　19：30-21：00
場　所　　シアターねこ　シアター
講　師　　白木原一仁（俳優・パントマイミスト）
料　金　　1,500 円
人　数　　10 人
助　成　　2017 年度 JTNPO 助成事業

芸術文化に関する人材育成事業

1）Ｃ．Ｔ．Ｔ．（現代演劇訓練）の取組

2011 年の 3 月から開始した C.T.T.（現代演劇訓練）を開催。
最終公演の後に懇親会をしながら、参加者やスタッフの交流を毎回深めている。
C.T.T.松山 VOL.20 では、特別記念企画として C.T.T.の企画発案者である
杉山準氏（NPO 劇研理事・C.T.T.京都事務局）に来松していただき、
拡大アフタートークを実施した。

（１）C.T.T.セレクション松山の開催
C.T.T.松山（vol.17～vol.19）の上位２団体と C.T.T.松山事務局推薦の
chon-muop(東京)を迎えてステップアップ試演会を開催
日　時　　2017/5/13　18：30　　5/14　13：00
場　所　　シアターねこ
上演協力金　一般 1,500 円　大学生 1,000 円　生徒 800 円
人　数　　154 人
上演作品（上演後合評会）
・along「無音」作：ゆーまろ
・パッチワークス「O（オミクロン）」作・演出：村山公一
・chon-muop（東京）「〇口なし」作・演出：櫻井拓見



（２）C.T.T.松山の開催
場　所　　シアターねこ
上演協力金　　一般 1,000 円　　生徒 500 円
①　VOL.20
日　時　　2017/9/2　18：30　　9/3　13：30
人　数　　104 人
上演作品（上演後合評会）
・Peanuts「2017 若者論」作・演出：品部大和
・劇団だるまど～る「かぼちゃらぼすの言うことにゃ」
　作・演出：前田浩和
・along「インプロショー」作・演出：なし

（３）C.T.T.松山 20 回記念特別企画　拡大アフタートーク
　　みんな"ほろよい"おしゃべりタイム
杉山氏は劇場の役割として演劇を始めたばかりの人を育てていく機能が
ある。地域の文化を育てていくには、小劇場や C.T.T.のような実験的な
表現によって地域で面白いことをしていこうという機運「小さな試み」
の重要性を訴えた。

日　時　　2017/9/2　　15：30-17：00
ゲスト　　杉山準（NPO 劇研理事・C.T.T.京都事務局）
ドリンクとおつまみの販売あり
人　数　　30 人

2）「四国劇王Ⅵ」代表決定戦

2012 年に日本劇作家協会東海支部と長久手文化の家が主催する劇王Ｘに四国４県の代表を送り出したのをきっかけとして、2014 年より四国の短編演劇祭として「四国劇王Ⅱ」をスタート。事前の戯曲審査では、14 人から短編戯曲が寄せられ、９作品を選出し予選と決定戦を実施した。
四国劇王は、作品の優劣を競うだけが目的ではなく相互に作品発表の場を共有し切磋琢磨し、交流しあう場として継続している。作品の内容、形式は問わない。それらを審査員と観客が作家性を重視しつつも総合的に判断し四国劇王を選出する。
四国劇王Ⅵは、松山帖句氏（白はえ・愛媛）が六代目四国劇王となり、行正忠義氏（シャカカ・高知）の３連覇を阻止した。

（１）戯曲審査
締　切　　2017 年８月 21 日
戯曲審査員　佃　典彦氏　はせひろいち氏
応　募　　14 人（９作品を選出）

（２）四国劇王Ⅵ代表決定戦
日　時　　2017 年 12 月９日（土）・10 日（日）
場　所　　シアターねこ
審査員　　佃　典彦（劇作家・演出家・俳優・劇団Ｂ級遊撃隊主宰）
　　読売演劇大賞、岸田國士戯曲賞受賞
　　はせひろいち(劇作家、演出家、劇団ジャブジャブサーキット代表)
　　劇作家協会新人戯曲優秀賞受賞等
　　鈴江俊郎（劇作家・演出家・Office 白ヒ沼代表）
　　岸田國士戯曲賞受賞、文化庁芸術祭大賞
司　会　　杉山田スギオ　　ファンファーレ
料　金　　一般 1500 円（当日 2000 円）学生 1000 円（当日 1500 円）
　　予選(3 回)+決勝戦　一般 3500 円(当日 4000 円)学生 2500 円(当日 3000 円
参加者団体　９グループ
人　数　　222 人（来場者 157 人・参加団体 45 人・スタッフ他 20 人）
内　　容
・12 月９日（土）13：00　Ａチーム
　絵之守空（香川県）「ジのコウシン.exe」
　棄権：佐々木 慶（愛媛県）「煙」
　丸山裕介（徳島県）「JR 大阪環状線空回り」
　投票・投票結果発表・審査員講評
・12 月９日（土）18：00　Ｂチーム
　大木茂実（徳島県）「crab cracker の使い方」
　松山帖句（愛媛県）「走れ」
　中西一斗（徳島県）「辛苦 or 水夢」
　投票・投票結果発表・審査員講評
・12 月 10 日（日）11：00　Ｃチーム
　小川真弘（徳島県）「目の覚めるようなブルー」
　玉井江吏香（愛媛県）「冬の終わり」
　仙石桂子（香川県）「やかんを火にかける」
　投票・投票結果発表・審査員講評

・12 月 10 日（日）15：00　決勝戦
　Ａチーム１位　絵之守空（香川県）
　Ｂチーム１位　松山帖句（愛媛県）
　Ｃチーム１位　玉井江吏香（愛媛県）
　昨年度四国劇王(五代目) 行正忠義（高知県）
四国劇王Ⅵは、松山帖句（愛媛県）「走れ」が獲得した。

（３）四国劇王Ⅵ大交流会
日　時　　2017 年 12 月 10 日（日）19:30
場　所　　シアターねこ　リハーサル室
参加者　　60 人（審査員、出場団体関係者、事務局及び広島事務局等）

３）演劇製作事業「巡礼」

長谷川寧氏（冨士山アネット主宰）を松山に迎え、
愛媛の方々と一緒に作品づくりに臨み上演した。

構成・振付・映像　　長谷川寧
共　催　　四国学院大学
制作期間　2017/6 月～2018/1 月
助　成　　文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

（１）WS オーディション（各回限定５名）
日　時　　2017/10/8　15:00-18:00/19:00-22:00
　　2017/10/9　15:00-18:00/19:00-22:00
　　2017/10/10　15:00-18:00
場　所　　シアターねこ

（２）「巡礼」上演
日　時　　2018/1/20　　15：00/19：00
　　2018/1/21　　11：00/15：00
場　所　　シアターねこ　シアター
料　金　　一般 2,500 円　学生 1,500 円　当日は+500 円
人　数　　281 人（来場者 251 人　関係者等 30 人）
出演者　　高山力造（世界劇団）　菊原結里亜（元ひめキュンフルーツ缶）
　　長谷川寧（冨士山アネット）
スタッフ　ドラマトゥルク：石本華江
　　演出助手：ゆーまろ（along）
　　映像：竹崎博人　照明：筆谷亮也　音響：池内宗基
　　舞台監督：前田浩和（だるまど～る）　宣伝美術：太田創

STORY　愛媛で活動する演出家の稽古場に訪れた、東京の演出家。
　　完全に行き詰まっている稽古場を目の当たりにし、彼が提案したのは「巡礼」。
　　遍路、或いは逃避行の中で、迷いを抱える演出家に訪れる巡礼の果て。
　　その姿に、あなたは自らを重ねるだろう。
　　これはドキュメンタリーか、はたまたドラマか。

4）劇作ワークショップ

劇作を楽しく、高度に、分析的に体感！として戯曲の構造について学んだ。
ワークショップの中でできた戯曲をグループで発表。
参加者の感想：書くことを学ぶだけでなく、演じるところまで体験したことで戯曲の面白さを体感できた。

日　程　　2017 年 7 月 29 日・30 日　　13：00-17：00
場　所　　シアターねこ　リハーサル室
講　師　　篠原久美子（劇作家・劇団劇作家代表）
料　金　　一般 3,000 円　　学生・高校生 1,500 円
人　数　　35 人
助　成　　2017 年度 JTNPO 助成事業

5）障がいがある方を対象としたワークショップインストラクター養成講座

障がいのある方々を対象とした
ワークショップインストラクター養成講座

日 時：2017 年 8 月 20 日（日）13: 00～17:00
場　所：シアターねこ（松山市練習）
参加費：無料
定　員：10 人

講師：二口 大学（ふたくち だいがく・俳優・演出家）
講師：広田 ゆうみ（ひろた ゆうみ・俳優）

主催：NPO 法人シアターネットワークスひめ　℡：089-904-7025
助成：2017 年度 JT NPO 助成事業

障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もが表現者になれることは、現在の日本において少しずつその活動において実証されている。演劇的手法を用いたワークショップは、自己表現能力やコミュニケーション能力を高めることができる。
今回の講師である二口氏・広田氏は、京都若者サポートステーションで、平成 19 年よりインプロヴィゼーション・ワークの講師として、若者の自己肯定感やコミュニケーション能力の向上を若者ペースに合った形で目指す活動を実施。愛媛においても障害のある方々に対して演劇的手法を用いたワークショップを開催していくためのきっかけとして開催。

感想等：動きのあるもの、静かに交流するもの、頭を使うもの、
　　様々な内容のプログラムを通して、交流の図り方を学んだ。
　　参加者のうち３名は自らが実施するＷＳに活用している。

日　程　　2017 年 8 月 20 日　　13：00-17：00
場　所　　シアターねこ　リハーサル室
講　師　　二口大学（俳優・演出家）　広田ゆうみ（俳優）
料　金　　無料
人　数　　10 人
助　成　　2017 年度 JTNPO 助成事業

6）長谷川寧ワークショップ

身体を通じて様々な情報を知るためのワークショップを開催

日　程　　2017 年 6 月 25 日　　10：30-12：30
場　所　　シアターねこ　リハーサル室
講　師　　長谷川寧（冨士山アネット主宰）
料　金　　2,000 円
人　数　　10 人

7）第二回四国学生演劇祭（共催事業）

全国学生演劇祭は、京都に集結し日本一を競う学生演劇の祭典。
2015 年に 0 回を開催し、2016 年度第 1 回全国学生演劇祭を開催した。
四国学生演劇祭実行委員会は、発足当初から参画。今回も四国 4 県から
7 団体が参加した。優勝した楽一楽座（徳島大学）は、2018 年 2 月に
京都で開催された第 3 回全国学生演劇祭に出場した。

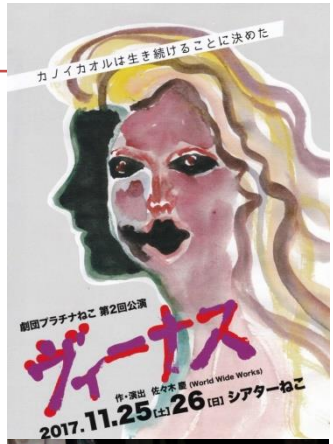
（1）四国学生演劇祭実行委員会会議
日　時　　毎月 1 回～2 回開催
会　場　　シアターねこ

（2）第二回四国学生演劇祭参加団体募集
申込締切　2017/6/30

（3）第二回四国学生演劇祭
日　時　　2017 年 10 月 14 日(土)予選①17：00
　　15 日(日)予選②11：00　決勝 16:00
会　場　　シアターねこ
審査員　　和田善夫（演出家・日本演出家協会理事長）
　　小嶋一郎（演出家）
　　近藤誠二（俳優・振付師）
内　容　　楽一楽座（徳島大学）　　劇団 EMPTY（香川大学）
　　劇団ドラマティックタイム（高知工科大学）能田組（松山大学）
　　一気（松山大学）　でんきう（愛媛大学）　along（松山大学）
　　終演後投票
優　勝　　観客票 1 位　楽一楽座（徳島大学）　第 3 回全国学生演劇祭
　　(2018/2/22～26：ロームシアター京都)に出場
料　金　　一般 1,500 円（当日 1,700 円）・学生 800 円（当日も同額）
　　高校生以下 500 円（当日も同額）
　　通し券　一般 3,000 円　学生 1,500 円　高校生以下 1,000 円

8）劇団プラチナねこ（協力事業）

2015 年度に実施したシニア演劇教室「プラチナねこ」から誕生した
劇団プラチナねこ。劇団発足後の活動のサポートを継続。



（1）稽古 42 回（2017/4 月～11 月）
ストレッチ、発声練習、勉強会等

（2）「ヴィーナス」の上演
日　程　　2017 年 11 月 24 日　16：00　　25 日　11：00/15：00
場　所　　シアターねこ
作・演出　佐々木慶
料　金　　一般 1000 円　高校生 500 円　当日+500 円　ペア割 1500 円
人　数　　184 人（来場者 169 人　関係者 15 人）
助　成　　生命保険協会

芸術文化に関する創造空間整備事業

1）「シアターねこ」との連携・協働

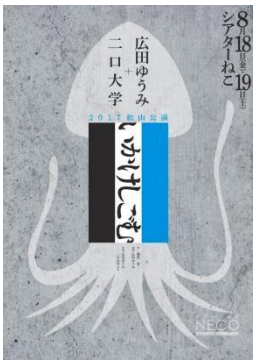
2012 年 5 月に開設した「シアターねこ」と企画運営を連携・協働し
愛媛の芸術文化の振興を推進。

芸術文化に関する鑑賞機会提供事業

(1) 共催公演事業

① サファリ・P　第二回公演「悪童日記」
日　時　　2017/4/15　18：30　4/16　13：30
料　金　　一般 3,000 円（当日 3,500 円）25 歳以下 1,200 円（前売当日共）
　　ペア割 4,500 円（当日とも）
会　場　　シアターねこ

② 二口大学×広田ゆうみ「いかけしごむ」
日　時　　2017/8/18　19：00　　8/19　14：00/19：00
料　金　　一般 2,000 円　U-26 1000 円　当日+500
会　場　　シアターねこ



③ サラダボール公演「廃墟」
日　時　　2017/9/23　19：00　　9/24　14：00
料　金　　一般 2,500 円　学生 1,500 円　当日+300 円
会　場　　シアターねこ

④ 下鴨車窓「冬雷」
日　時　　2017/10/21　19：00　　10/22　14：00
料　金　　一般 2,500 円　25 歳以下 1,800 円　ペア 4,300 円
会　場　　シアターねこ

⑤ 四国学院大学パフォーミング・アーツ研究所（SIPA）
「にせ桃太郎」
日　時　　2018/2/17　14：00/19：00　　2/18　11：00
料　金　　おとな 1,000 円（当日 1,200 円）
　　こども（大学生以下）500 円（当日 600 円）
　　親子（こども 1 人無料）
会　場　　シアターねこ

⑥ 正直者の会「田中遊　戯式」
日　時　　2018/2/9　19：00
料　金　　一般 2,500 円　26 歳以下 2,000 円
　　当日+500 円　高校生以下 500 円（当日とも）
会　場　　シアターねこ

⑦ 清水宏の世界を笑わせろ「空飛ぶスタンダップコメディ」
日　時　　2018/3/17　18：30
料　金　　一般 2,000 円　大学生以下 1,000 円
会　場　　シアターねこ

芸術文化に関する事業連絡調整・調査研究・政策提言事業

1）アートプラットフォーム

（1）道後オンセナート 2018「アートにのぼせろ～温泉アートエンターテイメント～」
　　2017/9 月～プレオープン　地元プロジェクトの企画運営
文化芸術促進をミッションとする複数の組織で構成している DAP（道後アートプロジェクト）にて、地元からのアートの発信を協働した。当 NPO では、以下の 2 つの事業の企画運営を担当。
①「山内知江子コマ撮りアニメーション製作投影」
②「yummydance「Hack HAIKU Hiking!!」」道後オンセナート 2018
DAP 団体：㈲upsetters、㈱BALANCE、NPO 法人カコア、NPO 法人シアターネットワークえひめ

（2）SENSE MATSUYAMA-BE SCHOOL（愛媛大学・松山大学連携事業）への協力
　アート・デザインによる地域の創造性と多様性の創出への理解を目的として、学生と地域との協働によるアート・デザインを軸としたワークショップ・座談会の企画・運営および「子ども」の参画による表現・創造活動プログラムに協力し、優れたアートやデザインに触れ、創作に関わる機会を提供。

2）政策提言事業

（1）愛媛経済同友会　文化芸術スポーツ委員会　（郡司島理事・鈴木理事）
芸術文化委員会のアドバイザーとして参加し、文化芸術振興条例の提言書の草案を作成した。

（2）松山新文化交流施設検討事務局会議
松山市が 2015 年春、JR 松山駅車両基地跡地にホールや広場を整備する基本構想を策定したことを受けて、文化芸術を通して人と情報が行き交い、賑わいを生むためにはどのような取組が必要か、市民への周知や様々な団体とともに考えていくきっかけとして開催した。協働団体：アート NPO カコア

その他目的のために必要な事業

1）会務の運営

（1）第 11 回総会の開催
　日時　2017/6/2　19：00　　会場　シアターねこ
（2）理事会
　日時　毎月第 2 火曜日定例開催　19：00-22：30　会場　シアターねこ等
（3）会員懇親会
　日時　2017/6/2　20：00-22：00　　会場　シアターねこ
（4）年末大掃除
　日時　2017/12/23　9：00-12：00　　会場　シアターねこ

2）その他の活動

（1）清水まちづくり協議会　文化委員会所属　　出席：鈴木理事
（2）松山市市民活動推進委員会：松山市市民参画まちづくり課　　出席：鈴木理事
（3）まつやまサポートセンター運営委員会　　出席：鈴木理事
（4）松山市文化振興計画策定懇話会：松山市文化ことば課　出席：鈴木理事
（5）松山大学カルスポ公開講座　　講師：鈴木理事　郡司島理事
（6）2017 年度 JT　NPO 助成金交付式　　出席：郡司島理事・森本理事
（7）高校演劇四国大会　審査員：鈴木理事
（8）四国学院アートマネジメント公開講座
　　出席：鈴木理事、郡司島理事、甲斐理事、矢内原理事、森本理事
　　講師：鈴木理事